

はじめまして！ 就実短期大学幼児教育学科で教員をしています 松本希 です。
今年1年、2歳児クラスのお友達と一緒に運動遊びをします。遊びを通して、お子さんの成長を近くで見られることに、とてもワクワクしています。

運動は何のために必要なのでしょう……。私は、「自分の体を守るために必要だ」と考えています。運動をすることによって、生活習慣病を予防するのはもちろんのこと、例えば、早く逃げることができる、遠くまで逃げるができる、自分の体に触れられないように防御することができる、また、泳げることで助かる命もあります。

幼児は大人のように計画的に運動をすることができないので、遊びの中でいろんな動作をやってみてほしいと思います。集団の中でお友達の様子を見て、お友達から勇気もらいながら、やったことがない遊びにもトライしてほしいなと願っています。

「わんぱくタイム」1回目は、床の上をハイハイしたり、転がったり、くぐったりして遊びます。これらは、体幹を刺激する運動です。体幹に力がつく姿勢を保ちやすくなり、落ち着いて座ることができたり、バランスをとったりできるようになります。



わんぱくタイム

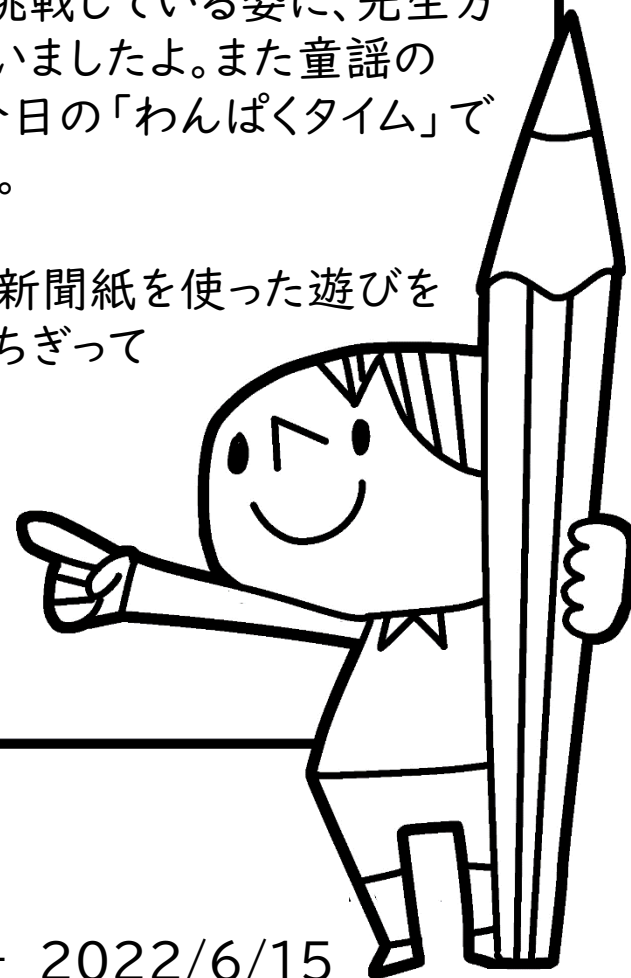
第1号 2022/5/11

梅雨に入りましたね。じめじめとしたお天気が続きますが、熱中症に気を付けながら、運動を進めていきたいと思います。

前回初めての「わんぱくタイム」では、みんな自分のやりたい遊び・運動をとことんやっていました。泣いていたお友達も途中で気持ちを立て直して、楽しむことができていました。いくつかある遊びの中でも、自分のしたい遊びを何度も繰り返して挑戦している姿に、先生方が「がんばれー」「上手になったね!」など、エールを送り続けていましたよ。また童謡の『チューリップ』に合わせた簡単なリズム体操を紹介しました。今日の「わんぱくタイム」でもします。またおうちで、どんな体操か聞いてみてあげてください。

今回の「わんぱくタイム」は、家ではなかなかできないであろう、新聞紙を使った遊びをします。新聞紙をしっぽに見立てて遊んだり、みんなで新聞紙をちぎって新聞シャワーをしたりする予定です。

- ①新聞紙の特性を知ること
- ②模倣遊びを通して、いろんな表現をすること
- ③これからお着替えが自立していくみんなの手指の動きをスムーズにすること
を目的として行います。



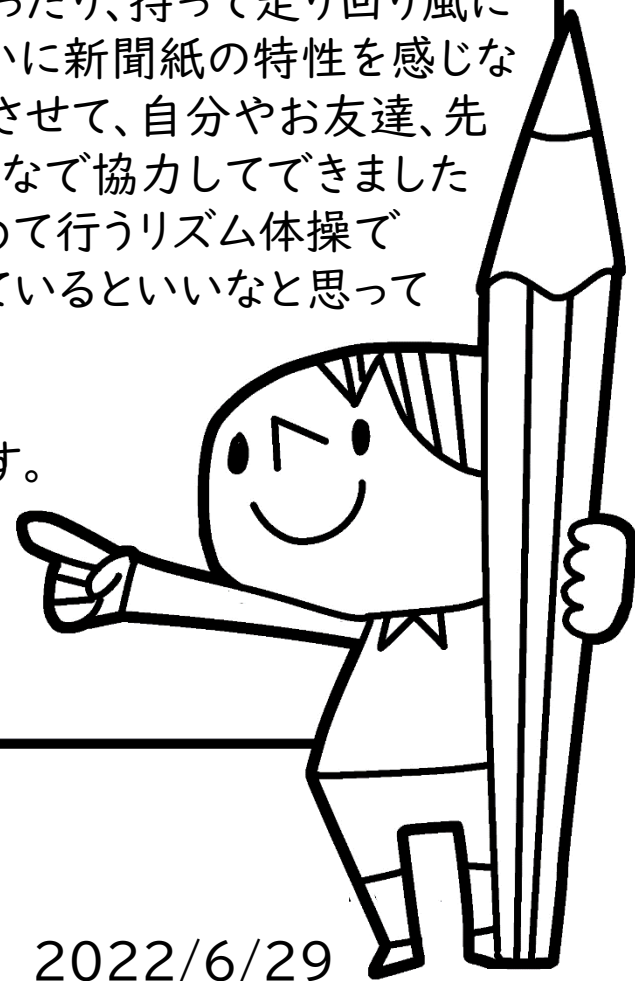
わんぱくタイム

第2号 2022/6/15

毎日毎日暑い日が続いていますね。熱中症が怖い時期がやってきました。子どもは大人のように自分の症状や様子を具体的に話すことはできません。夏場のおでかけは、無理な計画を立てず、こまめに様子を観察して、水分補給の時には'ごっくん'するところまで見守りましょう。

前回の「わんぱくタイム」では、新聞紙を使って遊びました。ちぎったり、持って走り回り風になびく様子を見たり、布団に見立てて寝転んでみたりと思い思いに新聞紙の特性を感じながら遊ぶことができました。最後の新聞シャワーは目をキラキラさせて、自分やお友達、先生にかけて、友達と関わる様子が見られました。お片付けもみんな協力してできましたよ。また、リズム体操では、『ばななくんたいそう』をしました。初めて行うリズム体操で戸惑っていましたが、今回も行いますので、少しでも覚えてくれているといいなと思っています。

今回の「わんぱくタイム」も引き続き新聞紙を使った遊びをします。目的は前回と同様ですが、新聞紙を雑巾に見立てて床を掃除するなど足腰を使う動きを取り入れていく予定です。さてさて、うまくいくでしょうか・・・
お子さんに様子を聞いてみてくださいね。



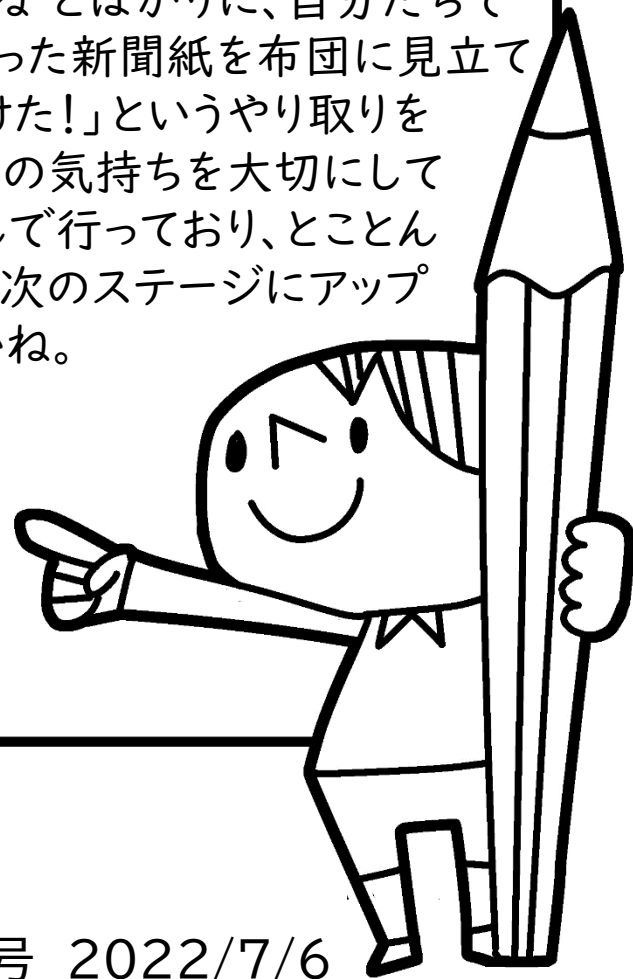
わんぱくタイム

第3号 2022/6/29

明日は七夕ですね。お子さんの願いごとは見られましたか？ 私の息子は、こあら組の時の七夕の願いごとに「トマトになりたい」と書きました。親の想像を超えた願いごとにびっくりしましたが、今は元気に小学2年生しています。安心してください。

前回の「わんぱくタイム」も、新聞紙を使って遊びました。2回目の活動だったので、子どもたちも新聞紙の扱いが上手になり、「こんな風に使って遊べるよね」とばかりに、自分たちで想像したり、工夫したりして遊ぶ姿を見ることができました。ちぎった新聞紙を布団に見立てて中にもぐり、先生から「いないなー、いないなー…あっ、見つけた!」というやり取りを大変喜んでいました。何度もやりたい・やってほしいという子どもの気持ちを大切にしたいですね。子どもは今の自分の成長に必要な遊びを選んで行っており、とことんやりたい・何度もやりたい気持ちに溢れています。やり尽くしたら次のステージにアップしますから、家庭でも余裕があれば遊び込ませてあげてくださいね。

今回の「わんぱくタイム」はボールを使った遊びをします。子どもの体力低下がよく問題として挙げられますが、とくに「投力」の低下は顕著です。まだまだ上手にボールを投げられる年齢ではありませんが、今後につながっていく遊びをしていく予定です。



わんぱくタイム

第4号 2022/7/6